

# 講 義 内 容

## 哲学研究

Study on Philosophy 4単位

哲学は「哲学とは何か」から始まり、存在事象全体へと拡大していくが、現代というきわめて多種多様な考え方、見方、また、多次元的な価値観の叫ばれる状況の中であって哲学はそれに対して果たしていかなる役割を担いまた果たしうるのか、といった意味での、哲学の存在理由からはじめて、そこに哲学が哲学独自の性格上提出しうる課題をとりわけ現代における哲学主張を概観しつつ究明していく。特に、存在、愛、悪、善、価値、言葉、自我、実存、宗教、科学、心身、他者、自由、運命、正義、生命、時間などといった概念に注意を払いながら検討していく。

## 哲学特殊研究

Special Topics in Philosophy 2単位

多岐にわたる諸問題を抱え、価値多様性のもので価値喪失、激動・変転の時代ともいわれる現代にあって、哲学はいかなる課題を自己自身のものとして提出し、いかなる役割を演じ、果たしうるのか、といったことを哲学の諸問題の中から特定し根源に遡りつつ究明していく。

## 現代哲学研究

Study on Contemporary Philosophy 2単位

現代哲学の諸問題を現代（19世紀～20世紀）の哲学の中に、自分の問題意識と響きあうものを見つけるといふ、おおまかな枠組みの中で、分野（認識論か道徳哲学か）の境界を超えた、普遍性のある哲学的探究の遂行を目標とし、この観点から実存哲学、現象学、存在論などの現代哲学を主題的に究明していく。

## 西洋哲学史研究

Study on History of Western Philosophy 4単位

古代から現代までの西洋哲学思想史について概説する。哲学がどのような状況下から誕生し、発展してきたか、哲学がいかなることを問題とし、どのような立場のもとでその解決を図ってきたか、について歴史的段階の固有性とつながりを確認しつつ明らかにしていく。哲学思想は、時代性や社会性を無視しては語り得ないので、その辺りの事情を十分配慮しながら解説する。しかも古代以降の哲学思想はすべからず現代に生きる私達の価値観や思惟様式にも大きな影響を与えているものなので、常に現代的視点から思想史を振り返る。

## 古代哲学特殊研究

Special Topics in Ancient Philosophy 2単位

古代ギリシア哲学のテキストを通して西洋哲学の生成とその根源形態の確立とをあとづけることを目的とする。まず、哲学自体の根源的な意義をソクラテス以前の思索のうちに探り、次に、真の哲学的精神を強烈に提示し続けたソクラテスの哲学精神と行動を究明し、それとの関連の元にプラトンとアリストテレスの哲学を中心テーマとしていく。

## 近代哲学特殊研究

Special Topics in Modern Philosophy 2単位

16世紀末からヘーゲルに至るヨーロッパの哲学を概観する。特にカントの思想をその中心に据えて、哲学における考え方の一つの典型を示していく。それにもとづいてそれ以後のドイツ観念論哲学、特にヘーゲル哲学との関連を明らかにしていく。

## 哲学研究演習

Seminar on Philosophy

4単位

哲学が提供するものは多種に及び、思考・論理・推理の形成からはじまって、人間自体のみならず、人間に関わる諸問題の設定と解明そしてその根拠と構造、意味・価値の規定にまで涉っている。これらのことについて概略をなぞりながら、人間存在に関わる諸問題を現実生活の中で確認し、人間のあるべき姿、人間のもつべき態度をその自覚的次元のもとに位置づけて明らかにしていく。特に、自覚の哲学としての西田哲学における自己の自覚的発展の道程を辿ってみる。「純粹経験」から「場所」への転回、そして「歴史的事実の世界への具体化」、非連続の連続、行為的直観、絶対矛盾の自己同一への深化、逆対応を通しての宗教的世界への貫通といった西田哲学体系のもつ精神生命に触れることがこの演習での基本的な課題である。

## 西洋哲学史研究演習

Seminar on History of Western Philosophy 4単位

古代から現代にいたる西洋哲学史全体を対象とする。哲学史研究は、過去の哲学の単なる回顧ではなく、新たな哲学的可能性を切り開くものである。したがって、現代の哲学状況から出立して、本質的な問題をその起源へ向けて探究せねばならない。そのために、基本的な諸概念とその歴史的な変遷に照準を合わせ、それぞれの哲学に特有な問題構成を捉え直すこととする。また、哲学を社会的文脈のうちに位置づけなおし、その時代背景や歴史的射程も明らかにする。

## 哲学的人間学研究

Study on Philosophical Anthropology

2単位

「人間とは何か」という問いは古くからの根本的な問いであるが、現代哲学の潮流のなかで新たに発展してきた哲学的人間学が提示する諸問題を取り上げることによって、「人間のあり方」や「人

間の生き方」について、各自の問題意識と関連付けつつ深めていく。

## 教育的人間学研究

Study on Pedagogical Anthropology

2単位

教育人間学は教育研究において今日再び中心的役割を担う作業分野になってきている。「人間の生命全体を教育の視点のもとに把握する」というコンセプトのもとで、教育可能な、教育を必要とする、教育し教育される人間の本質を教育的な個々の現象や出来事、人間関係、価値的経験、文化的意味構造を通して解釈し明らかにしていく。

## 宗教哲学研究

Study on Religious Philosophy

2単位

「宗教とは何か」「宗教は必要か」といった問題を宗教の本質、人間と宗教との関係、時代と宗教との関係、宗教心、絶対的な者としての神の問題および宗教的事象の潮流のなかで提示される諸問題を通して取り上げていく。特に現代に生きるわれわれにとっての宗教の位置および意味、また宗教的次元における文化と人間の関係についての確認を個人個人の実存性に照らしながら行なっていく。

## 倫理学研究

Ethics

2単位

現代倫理学は何を問題とし、いかなる解決を与えるのか。世界的規模で地球全体のあらゆる事に及ぶ科学技術の進歩の影響力のもとで起こってくる、医療、情報、環境、経済、教育といったわれわれの生活に直結する様々な場面での倫理問題を人間存在に関する本質的な問題に照らし合わせて取り上げる。

## 哲学特別演習 A

Special Seminar in Philosophy A 2単位

個別的研究指導を徹底して行なっていくことによって、特定のテーマを設定し、より専門的な研究へと進展させ、修士論文の作成を意図する。哲学的課題の設定に関して、哲学分野・領域における問題設定およびその内容の根拠と意味についての吟味を行なっていく。そこから哲学研究の方法とともに、研究文献の通覧および検索を行なうとともに研究課題の設定へと向けていく。

## 哲学特別演習 B

Special Seminar in Philosophy B 2単位

哲学的課題の設定に関して、哲学分野・領域における問題設定およびその内容の根拠と意味につ

いての吟味を行なっていく。そこから哲学研究の方法とともに、研究文献の通覧および検索を行なうとともに研究課題の設定へと向けていく。

## 研究指導 I

Seminar on Research I 2単位

修士論文を作成するために、テーマの設定、テキストの読み方、資料の収集などについて、具体的に指導する。

## 研究指導 II

Seminar on Research II 2単位

修士論文を作成するために、全体の構想、議論の進め方などを指導する。